

「デンカライフイノベーションリサーチ」開所式開催のお知らせ

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉高紳介）は、2月13日、シンガポールにおいて「デンカライフイノベーションリサーチ・プライベートリミテッド（Denka Life Innovation Research Private Limited：略称：DLIR）」の開所式を開催したことをお知らせいたします。

シンガポール政府は、バイオメディカル・サイエンス研究体制の発展のため、国内外の研究機関や企業を積極的に誘致しています。バイオ研究ハブ「バイオポリス」には、シンガポール科学技術庁（A*STAR）のバイオ研究機関のほか、世界のバイオ関連企業が集結しており、官民が連携して、先進的で活力のある研究開発が進められています。

デンカグループは、1980年にアセチレンブラックの製造工場を開設して以来、シンガポールを生産拠点のみならず、東南アジアにおけるヘッドクォーターと位置づけて、事業を展開しています。また、持続的成長が期待される健康・ライフサイエンス関連事業を強化しており、このたびのDLIRの開所を期に、オープンイノベーションを一層推進し、ジカ熱やデング熱などの熱帯感染症に対する遺伝子法による簡易診断システムや、当社の保有する、植物を用いたたんぱく質産生技術による季節性インフルエンザワクチンなどの研究開発を加速していきます。

DLIR内での開所式に続いて開催した記念パーティーには、EDB（シンガポール経済開発庁）のベア・スワンジン長官、A*STARのリム・チュアン・ポー長官を始め、多数の研究者、シンガポール政府関係者にご出席を頂きました。席上、吉高社長より、シンガポールの皆さまへの感謝の言葉をお伝えするとともに、「ライフイノベーション」を目指し、がん、感染症など人類が直面する課題に立ち向かい、新たな技術により社会に貢献していく決意を表明いたしました。

参考：2016年7月26日ニュースリリース「シンガポール・バイオポリスにライフサイエンス研究開発拠点を開設」

www.denka.co.jp/news/pdf/20160726DLIR_establish.pdf



(上)DLIR開所式

(右)記念パーティーにて（写真左よりリム・チュアン・ポー
A*STAR長官、吉高社長、ベア・スワンジンEDB長官）



以上